
令和6年度の活動

青少年のための科学の祭典

8月25日に函館市民会館で行われた青少年のための科学の祭典において、支部ではラジオ作りブースを出展しました。

子どもたちにモノづくりの楽しさを伝えようと20年以上参加している我が支部伝統行事の一つです。ゲルマニウムラジオから始まったラジオ作り教室も、技術の進歩とともに変化し、本年度は、スピーカーで鳴る FM ラジオを作りました。DSP の技術が取り入れられた回路で、感度、音質も十分満足できるものでした。

今回は、21名の青少年(元青少年も含む)がラジオ作りに挑戦し、全員完成させ、持ち帰ることができました。平均して1時間程度の作業時間ですが、完成して音が鳴った時の子どもたちの笑顔は、今も昔も同じ。インストラクターもホッと、安心できる瞬間です。

この時は、まだこの中からアマチュア局が誕生することは予期もしませんでした。それが現実になり、現在渡島檜山支部の空に花を添えることになった記念すべきラジオ作り教室でもありました。



支部大会・ハムの集い

9月15日には、北斗市農業振興センターで第49回渡島檜山支部大会・ハムの集いが行われました。

青森県から JQ7ATB 岡田青森県支部長を始め2名、他支部以外の道内からの JF8EPR 中島地方本部幹事を含む3名を入れて、合計57名の参加のもと、盛大に開かれました。

社員の JE8KQR 大國さんより、最近の総通の動きなどの情報提供をいただきました。

今回のハムの集いでは、JA8WNR 清水さんを司会に、「JA8 時代を振り返る」というテーマで、JA8ANQ 酒井さん、JA8EJK 河原さん、JA8KUT 木村さんをパネラーに、パネルディスカッションを行い、当時にアマチュア無線の繁栄の様子が語られました。その後グループごとに行われた話し合いでは、アマチュア無線を長続きする秘訣などが話し合われました。

あげます・くださいのコーナーは、予想をはるかに超える量の持ち込みがあり、会員の皆さんに深くお礼申し上げます。集いの終了後に残っている物はなし。全てが新しい持ち主のもと活用されることになりました。

また、抽選も思い出に残るものとなりました。抽選に当選した岩井さん(当時は無線の免許はまだありませんでした。)はその後、すぐに無線従事者の資格を取り、JM8UUY のコールを取得。さらに今では支部の会計幹事も務めてもらっております。

課題も多く残る支部大会でしたが、次年度に反省を生かして、よりよい大会運営にして参りたいと思います。



函館市防災フェスタ見学

10月6日、支部非常通信ボランティアは、研修として、函館市緑の島で開催された函館市の防災フェスタの見学を行いました。

見学では、海上保安庁、消防、警察、自衛隊などが災害時の初動時にどのように動くかのデモンストレーションが行われました。

見ていて一番大切なことは、的確に指示を伝え、気持ちを一つにして行動することだと感じました。指示には、現場で直接声で、メガホンなどでありましたが、どの部隊も携帯無線機を有効に使っていたことが見受けられました。

その後、それぞれの舞台の特殊車両の



見学や衛星通信車を見学しました。最後に自衛隊のカレーの炊き出しをいただき、解散としました。

渡島檜山支部発足 50 周年記念式典

北海道が8つの支部になって50年を迎えたことを祝し、11月9日に、函館市湯川町の畑野商店内ゆったりーなにおいて、渡島檜山支部発足 50 周年記念式典を挙行いたしました。

今回の式典は、大先輩ばかりではなく、最近開局された方も参加するなど、とても意義のある集まりとなりました。

この式典には、支部内外から18名が参加しました。席上、5期10年に渡って渡島檜山支部長を務められた JE8HLA 伊藤秀夫様に表彰状が贈呈されました。

50周年のスライドショーでは、JH8HLU 正村北海道地方本部長のメッセージを始め、この10年間の行事の写真映像が流され、とても盛り上がりました。

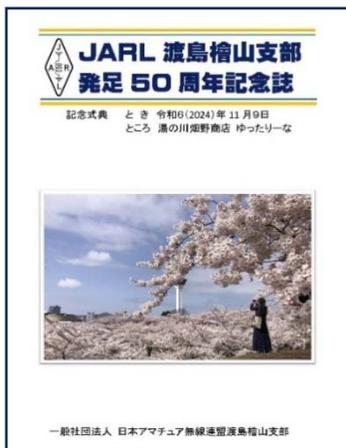


また、式典に合わせて、支部発足 50 周年記念誌も発刊されました。

会員の皆さんからの投稿では、アマチュア無線の草創期の様子を語る貴重な資料や体験もたくさん掲載されております。各局短信、支部の歴史などでは、渡島檜山支部が発足した昭和 49 年からの支部事

業をまとめました。この 10 年間の支部大会の写真、特別局の Q S L など 124 ページの冊子ができました。

まだ残部があります。手元に冊子がない支部会員は、ご請求ください。お送りいたします。また支部会員以外については、実費にてお渡しすることができます。



消防署見学

1月19日、支部非常通信ボランティアでは、研修会として、函館市消防本部を訪問し、通信指令室、消防車両の見学を行いました。

消防の通信では、管内に山間部もあることから、合併した地域には、中継局を置き、不感地帯をなくしているということでした。また、隣接する消防とも共通波でいつでも無線通信ができるようになっているということです。

通信指令室は、テレビなどでは見かける映像はよくありますが、目の前で、119番通報の入電ランプが付く、緊張感のあ



る見学となりました。

今回は、消防隊員から直接話を聞き、受け答えもしていただき、とても有意義な研修会になりました。

危機管理の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

モールズ講習会

1月1日から3月31日まで90回に渡り、佐々木支部長を講師に、ZOOMを使ったモールズ講習会が開催されました。この講習会には、地元の会員をはじめ、全国から15名が参加しました。

1月の時点では、試験用に符号は点と棒で覚えていた程度で実際の音の信号は受信できなかったという参加者たちですが、毎日欠かさず出席し、また復習も繰り返し、符号が取れるようになりました。3月になり、お空にデビューされた方も多く、この3か月でモールズの通信の魅力はしっかり伝わったようでした。



ビギナーズセミナー

最近開局された方が数局いることから、開局間もない方、そして、これからアマチュア無線を始めようとする方を対象としたビギナーズセミナーを2月15日、亀田交流プラザで開講いたしました。

話題提供では「最近開局して感じたこと」

JM8RWB 池内さん、「アマチュア無線のあゆみ」JH8CBH 佐々木支部長、「海外との交信の楽しみ」JA8EJZ 斎藤さん、「FT8 の楽しみとハムログの活用」JA8FHM 佐藤さんに話をいただきました。その後、交流会となりました。交流では、デジタル通信のこと、海外通信の面白さのこと、あまり遠慮せずローカル局の支援を仰ぐこと、南極観測隊との交信のこと、真空管ラジオのこと、免許取得のことなどが話題としてでました。

新聞を見て参加したという高校生もあり、今後につながるセミナーとなりました。



ロールコール

会員のアクティビティーを高めるため2021年10月8日から始まったロールコールも、8月2日で79回を迎えました。引き続き、毎月第一土曜日の午後8時から144MHzのFMで行って参ります。

支部からの連絡、会員の皆様からの近況報告をしております。

回数	日付	キー局	参加局数
66	7月14日	JH8CBH	16
67	8月3日	JE8OGI	15
68	9月7日	JH8NNW	12
69	10月5日	JM8OTS	16
70	11月2日	JK8XBR	16
71	12月7日	JE8OGI	17

臨時	12月31日	JA8DHR	19
72	1月4日	JH8NNW	23
73	2月1日	JR8CSY	17
74	3月1日	JH8EEO	21
75	4月5日	JE8MXZ	23
76	5月3日	JA8VKV	21
77	6月7日	JK8TYW	13
78	7月5日	JA8VKV	21
79	8月2日	JI8PLY	20

また、12月31日の紅白合戦終了後に行われた年越しロールコールも恒例化しつつ、一年間を振り返りました。

また、年越しロールコールまたは1月のロールコールに参加された方には、支部からささやかながら記念品を贈らせていただきました。

OHS(Oshima Hiyama Shibu)メーリングリスト

会員が自由に交流できる OHS では、支部や皆さんらの情報で、盛り上がっています。また、会員の実践からその輪が広がっていったものもあります。ちょっとしたほしいもの、だれかに譲りたいものなどのやりとりも行われております。

昨年の4月から、8月5日現在で744件の書き込みがありました。

書き込みはもちろん歓迎ですが、見ているだけでも、貴重な情報がたくさんだと思います。jarl 転送アドレス(投稿はできません)を含む、メールをお持ちの支部会員であれば、どなたでも登録することができます。